

## 夏休みを迎えるにあたって

茗溪塾塾長 長谷誠基

7月に入り、かなり気温も高くなってきました。もうすぐ本格的な夏も目の前です。

受験生にとって重要な夏休みが近づいてきています。

6月25日には小6受験コースと公立一貫校受検コース対象に全校合同特訓が行われました。ここでは今後の学習の1つのカギとなる「国語実戦」と「資料読み取り100選」がスタートしました。国語実戦は実際に入試に出た読解問題で構成され、1つ1つきちんと解いていくことによって読解力を上げるのが大きな狙いです。毎年100題解き切る子もたくさんいて、国語の成績が向上したり安定したりとかなりの効果を上げています。また、実際にこの教材の中から入試に出題されるものもありますので頑張って取り組んでほしい教材です。すでに2冊目に入っている生徒も多くいますので頑張りましょう。「資料読み取り100選」は適性検査の攻略にはかかせない資料の読み取りを練習するものです。主観を排除し、客観的に変化を読み取る練習は慣れてくると、どんどんポイントをつかむのが速くなっていきます。こちらも夏休みにも進められると思いますのでコツコツ取り組んでいくと良いでしょう。

さて夏休みですが、夏に入る前に大きな学習目標を立てることが重要です。参考になるのは7月に行われる模擬試験や月例テスト、または学校の定期試験です。それらのテストで出来なかった教科または単元をできるようにするのが夏の目標になります。夏期講習を受ける人は、ほぼ間違いなくその単元も学習内容に含まれていると思いますが、講習の内容以外にもプラスで勉強していかないと苦手は克服できないものです。講習以外のテキストや先生からもらったプリントを使って演習量を増やし、苦手克服を目指しましょう。

また、今年は久しぶりの行動制限のない夏休みになりますので、中には旅行に出かけたり田舎に帰ったりする人もいると思います。せっかくの機会なのでいろいろな経験をしてもらいたいと思います。せっかく行った場所でゲームをしているなんてもったいない。その土地土地の自然や伝統に触れたり土地で取れたものを食べたりすることも大事な経験(勉強)になります。私もお盆に田舎に帰ると、そこで取れたなすや枝豆(とても甘い)、とうもろこしが楽しみです。こういうことから食べ物の旬を知ることができたり、実際に生えているところが見られたりするかもしれません。昨年まではやりたくてもできなかった経験をするチャンスでもあります。計画的に過ごす夏にしてほしいと思います。